



東陶器

9月号
令和7年8月25日
堺市立東陶器小学校
TEL 236-0036
FAX 236-0020

「大人の役割」とは

夏休みの間、教育活動や学習指導から一步引いて、社会や教育のあり方を大きくとらえようとする著作等に触れ、「大人の役割」とは何かを考える機会がありました。その中で、長年にわたってゴリラやサル社会について研究されてきた前京都大学総長の山極 寿一（やまぎわ じゅいち）さんの講演録の次のようなフレーズが気になりました。

…そういう言葉のいらないコミュニケーションによって成り立たせてきた人間の信頼関係が、だんだんと崩れてきたと私は感じている。つまり、子育てを中心に共感を高め、相手の感じていること、相手の持っていない知識をできる限り先回りして斟酌しながら、相手のためになることをしたいという心持ちが、だんだんと社会に根付かなくなっているように思うのである。…

これは、山極さんの「サル化する人間社会」という講演の一部分です。山極さんの同名の著書（「サル化」する人間社会）の中では、サル社会とゴリラ社会が対比的に表されていて、本来ゴリラ社会に近かった人間の社会が、サル社会に近づいている（サル化している）というのです。

サル社会は上下関係がはっきりした序列社会で、力の強弱による勝ち負けで全てことが決まり、進んでいきます。例えばケンカが起きた時、サル社会ではたいてい「上の立場」にある優位なサルに大勢が味方して、ケンカを終わらせます。長い物には巻かれろといった感じです。また、食事の際にも、優位のサルの前では劣位のサルは決して食べ物には手を出しません。食べる時には散らばって、互いに目が合わないようにするそうです。

一方、ゴリラのケンカでは、どちらかが勝ってどちらかが負けるという決着をつけません。そんなことになる前に、第三者が仲裁に入ります。これによって、誰も負けず、誰も勝たず、互いに対等なところで決着をつけるそうです。また、ゴリラは群れの仲間と一緒に食事をし、仲間間で食物を分け合うことも行います。体が小さく力の弱い子どものゴリラは、もっと食べ物が欲しいときには、大きなゴリラの顔を覗き込んで、「もっとちょうだい」をアピールします。それにきちんと応えられるゴリラが、仲間の中で「尊敬される存在」になるのだそうです。

こうして比べてみると、人間の社会にはサル・ゴリラの両方の面があるようですが、人間社会の「よさ」はゴリラ社会に近いものがあると感じます。山極さんも、「…子どもを皆で一緒に育てて、未来の世代をつくるという大きな目標を掲げてきたのが人間社会の根本である。それが崩れて、今は個人の利益が最大化できるような社会がめざされるようになってしまった。それが、私の大きな懸念になっている。」と講演を締めくくられています。

「大人の役割」については、8月19日の朝日新聞朝刊に下のような記事がありました。
京都府亀岡市では「書くのが子ども、読むのが大人」という新聞（「かめおか子ども新聞」）が発行されているそうで、そこに大人世代から次のような悩みの相談がありました。

「最近私が注意したり、叱ったりすると矛盾を的確に突いてくる5歳の娘に閉口しています」
子ども「記者」からの回答は次の通りです。

親って自分が言ってることと、やってることが一致していないのが問題だと思います。

さらに回答は、「滝にうたれたりして自分を見つめ直してください。」と続きます。

今日から2学期が始まりました。「滝にうたれた」ような新たな気持ちで、「大人の役割」をしっかり果たしていきたいと考えています。

8・9月の行事予定

8月		
25	月	2学期始業式 A3 下校 11:45 ごろ
26	火	A3 下校 11:45 ごろ
27	水	給食開始 A4 下校 13:45 ごろ
28	木	A4 下校 13:45 ごろ（29日（金）も同じ）
9月		
1	月	テレビ朝礼 学費振替日 教育実習開始（4・4,6・2）
3	水	委員会活動（5校時） 1～4年A4
8	月	5年宿泊学習（大阪府立青少年海洋センター） スクールカウンセラー来校日
9	火	5年宿泊学習（大阪府立青少年海洋センター）
10	水	1・2・5年A4 下校 13:45 3・4・6年A5 下校 14:45
11	木	PTA本部役員会 19:00
15	月	敬老の日（休日）
16	火	スクールカウンセラー来校日
18	水	委員会活動5・6年（5校時）
22	月	テレビ朝礼 スクールカウンセラー来校日
23	火	秋分の日（休日）

せんせいあのね
一年
おとうとは四さい。おふろにはいらな
い。いつもおこられるよ。ぼくのことを
じいっとみてる。ぼくがはいったら、
「はいりたい。」
という。
でるとすぐごはんをたべる。ようちえ
んでめっちゃおかわりしたのに、いえで
もめっちゃたべる。しろいごはんがす
き。ぼくは一ぱい。おとうとは十ぱい。

花粉症
五年
今日は花粉が多いらしい
とくに スギが多いらしい
マスクを付けて 出かけても
はなが ずるずるつまっちゃう
今日も 花粉が多いらしい
とくに ヒノキが多いらしい
マスクを付けて 出かけても
目が とてもかくなる

挑戦
六年
いざ挑戦
下を向かずに 後ろにも向かず
前を見て 心をきめて
いざ挑戦
一歩一歩 進んで行き
いざ挑戦
最後まであきらめない
挑戦は
人生を大きく変えていく
だから僕は
いざ挑戦

はとぶえ7月号に掲載された本校児童の作品の一部です。

教育目標
○よく考え 主体的に活動する 心豊かな子の育成
教職員像
○自分大好き ○友だち大好き ○学校大好き
子ども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員
子どもたちの学びを支える笑顔いっぱい元気な教職員
子ども像
○笑顔で登校し、笑顔で下校する子ども
○感謝の気持ちを言葉で伝える子ども

・10月の主な行事

- 1日（水）
学費振替日
初研 S4 下校 13:15
- 8日（水）
委員会活動
（前期最終）
- 9日（木）
PTA役員会 19:00
- 15日（水）
6年連合運動会
- 17日（金）
3年校外学習
- 23日（木）
連合運動会予備日
- 29日（水）
委員会活動（後期）

※予定は変更することがあります。

給食の残食量調査から

6月	献立名	残食率
16日	ごはん	15%
	五目汁	10
	なすと豚肉の炒め煮	21
17日	ごはん	16
	塩ちゃんこ汁	13
	一口焼きとり	0
	ひじきの甘煮	13
18日	コッペパン	2
	パンプキンポタージュ	16
	ハンバーグ野菜ソース	2
19日	ごはん	19
	だんご汁	12
	卵焼き	2
	大豆の五目煮	25
20日	ごはん	17
	チャージャン豆腐	15
	じゃがいもの磯辺焼き	3

す。なす、ひじき、大豆などは苦手な食材のようで、19日の「大豆の五目煮」は25%もの残食がありました。また、18日の「ポタージュ」は比較的残食の少ないメニューですが、「パンプキン」（かぼちゃ）が苦手な人が多いようで、裏ごして形はなくなっているにもかかわらず、残食率は16%となりました。

反対に、17日の「一口焼き鳥」、19日の「卵焼き」のように、味のはっきりした物については、残食はほとんどない状態でした。また、イモ類は苦手な人が比較的多い食材ですが、20日の「じゃがいもの磯辺焼き」は残食が少なく、じゃがいもには苦手意識が少ないようです。

ごはんの残食が多いのは、以前にもお知らせしたように、「おかずはおかずだけ」「ご飯はご飯だけ」食べるという「ぱっかり食べ」が原因ではないかと考えています。ごはんはおかずといっしょに食べること（「口中調味」という）によってそれぞれのおいしさが増す食材です。この「口中調味」はユネスコの無形文化遺産に登録された和食文化の特色でもあります。給食で試してみてください。

さらに気になることとして、一人一人の食べる量に大きな差があるとのことでした。配膳の際には、食べ残しを減らすために、個々の体調等に応じて量を調整していますが、これによって、食べる量が減ってしまう場合もあります。給食は量を含めて1食あたりおよそ650キロカロリーが基準になっていますが、調整することで基準以下になったり、たくさんのおかわりをする事で基準を大きく超える場合もあるようです。残食を減らす点ではおかわりはありがたいことですが、食べすぎには注意が必要になります。

栄養士の先生たちは、よりおいしく食べられる新メニューの開発にも努力しています。今開催中の大阪・関西万博にちなんで、色々な国の特色ある料理が、給食メニュー化されています。世界の食文化にもぜひ触れてみてください。

左の表は6月のある週の給食の残食率を調べたものです。残食率とは、調理した量を100とした時の、食べられずに残った量の割合です。昨年度もお知らせしたように、栄養士の先生によれば、残食率が5%以下なら「よく食べている」、10%を超えると、「たくさん残っている」と感じられるそうです。

その点から見ると、パンに比べてごはんの残食率の高さが目立ちます。特に、19日のように、「大豆の五目煮」等と組み合わせた和食メニューになると、20%近い残食率になってしまいます。

この週のメニューでは苦手な食材の傾向がはっきり出ていま

1学期の終業式に通知表をもらっている場面です。今日から、さらによい2学期にしていきたいと思います。

1年 少し緊張しているようですが、楽しみでもあります。



2年 1学期のがんばりを振り返っています。



3年 先生の表情も、みんなへの励ましになります。



4年 先生の言葉をしっかり受け止めています。



5年 手ごたえのある1学期だったようです。



6年 後ろ姿から真剣な気持ちが伝わってきます。



